

筑波大学大学院博士前期課程
人間総合科学研究科生涯発達専攻
リハビリテーションコース

平成 29 年度入学試験

論述試験問題

[注意]

1. 問題は、問題 1 と問題 2 の 2 問です。
問題 1 は、(1)、(2)、(3) の 3 つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
問題 2 は、(1) と (2) の 2 つの設問からなっています。すべての設問に答えてください。
2. 答案用紙は 600 字詰め 5 枚、下書き用紙は 5 枚あります。
答案は、設問ごとに答案用紙 1 枚にまとめて記載してください。
答案用紙の裏面は使用しないでください。
下書き用紙は、自由にお使い下さい。
3. すべての答案用紙に必ず受験番号を記入してください。
4. 各答案用紙の欄外の左上に、問題番号 [問題 1 (1)、問題 1 (2)、問題 1 (3)、問題 2 (1)、問題 2 (2)] を明記してください。
5. 試験終了後、問題用紙と下書き用紙も回収しますので、持ち帰らないでください。

問題1

下の表は、文部科学省が平成25年に体力・スポーツに関する国民の意識を把握するために実施した調査の一部である。この調査では、「あなたは、地域におけるスポーツ振興に、どのような効果を期待しますか。この中からいくつでもあげてください。」というアンケート調査を実施している。

*スポーツ振興とは、スポーツを国民一般に広く普及すること。

- (1) この表から読み取れる内容を600字以内で述べなさい。
- (2) この表の結果を踏まえて、あなたの立場（職業的な）から地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待するか、400字程度で述べなさい。
- (3) 50～59歳で、地域のコミュニティの形成・活性化に期待すると答えた方は、40～49歳でそう答えた方と比較して何人多いか、計算式を示して答えなさい。

	地域のコミュニティの形成・活性化 (%)	高齢の生きがいづくり (%)	親子や家族の交流 (%)	子供の体力づくり (%)	余暇時間の有効活用 (%)
20～29歳 (n=169)	43.8	27.2	46.7	49.7	32.0
30～39歳 (n=270)	44.8	24.8	50.7	55.6	23.7
40～49歳 (n=354)	42.1	24.9	41.0	42.7	31.4
50～59歳 (n=314)	53.8	43.9	36.3	29.9	31.8
60～69歳 (n=437)	38.2	48.7	26.8	24.3	29.1
70歳以上 (n=353)	25.5	47.9	23.8	19.8	17.3
合計 (n=1897)	40.6	38.0	35.6	34.5	27.3

(出典:文部科学省 HP より引用、一部改変)

問題2

別添の文章（4頁～8頁）は、高橋恵子・波多野誼余夫著『生涯発達の心理学』（岩波新書，1990年）の一部を抜粋したものである。この文章を読んで、以下の（1）と（2）の設問に答えなさい。

（1）この文章の要旨を400字程度で述べなさい。

（2）あなたの仕事あるいはリハビリテーションにおいて「エキスパートになる」ことについて、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

著作権法により公開しておりません。